送付数:1,437人 回答数:627人 回答率:43.6%

担当課:福祉援護課(086-426-3321)

【アンケートの目的】

倉敷市ひきこもり相談支援事業に関し、ひきこもりに関する支援ニーズや相談窓口の認知度等についてお聞きし、今後の啓発活動や支援実施に生かすために実施しました。

【担当課のコメント】

この度は倉敷市のひきこもり支援に関するアンケートに御協力いただきありがとうございました。

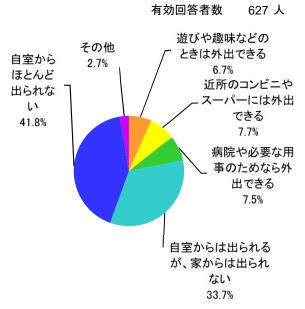
ひきこもり状態にある方の外出状況について、75.5%の方が自宅から出られない状態をイメージしていることが分かりました。意思疎通については、47.0%の方がウェブ上など直接対面しない場合に意思疎通できる、28.4%の方が、親しい人や家族といった限られた関係であれば意思疎通できるとイメージしていることが分かりました。これらのことから、「ひきこもり」という言葉から市民の皆様がイメージされる状態には幅があることが明らかになりました。ひきこもりは社会的に孤立し、孤独を感じている状態や、様々な生きづらさを抱えている状態など、多様な状態を表すものです。生きづらさを抱えている方々やその家族が、自らの意思により、生き方や社会との関わり方などを決めていくことができるよう、相談しやすい体制づくりに努めてまいります。

また、ひきこもりの相談先について、45.9%の方が、どこにも相談することができない可能性があることが分かりました。ひきこもりについて相談できる窓口を、より広く知っていただくための情報発信に取り組んでまいります。

ひきこもりに関する必要な施策や支援については、ひきこり状態にある本人だけでなく、身近な家族等への支援が求められていることも分かりました。ひきこもり状態にある方とその家族等のそれぞれの意向を大切に丁寧な支援ができる体制を整えてまいります。

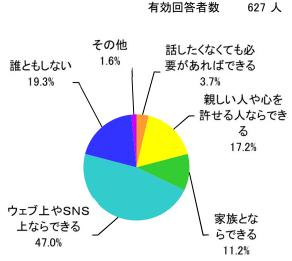
1 ひきこもり状態にある方の外出について、どのようなイメージをもっていますか。

選択肢	回答者数
遊びや趣味などのときは外出できる	42 人
近所のコンビニやスーパーには外出できる	48 人
病院や必要な用事のためなら外出できる	47 人
自室からは出られるが、家からは出られない	211 人
自室からほとんど出られない	262 人
その他	17 人
その他(抜粋) ・ 個人差があるので一概に言えない など	



2 ひきこもり状態にある方の意思疎通について、どのようなイメージをもっていますか。

選択肢	回答者数
話したくなくても必要があればできる	23 人
親しい人や心を許せる人ならできる	108 人
家族とならできる	70 人
ウェブ上やSNS上ならできる	295 人
誰ともしない	121 人
その他	10 人
その他(抜粋)	



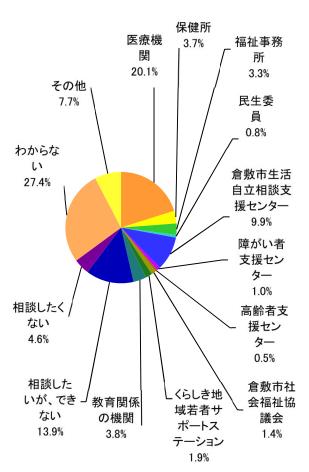
・ 個人差があるので一概に言えない など

3 仮にあなたや家族がひきこもり状態になったら、どこに(誰に)相談したいですか

選択肢	回答者数
医療機関	126 人
保健所	23 人
福祉事務所	21 人
民生委員	5 人
倉敷市生活自立相談支援センター	62 人
障がい者支援センター	6 人
高齢者支援センター	3 人
倉敷市社会福祉協議会	9 人
くらしき地域若者サポートステーション	12 人
教育関係の機関	24 人
相談したいが、できない	87 人
相談したくない	29 人
わからない	172 人
その他	48 人

その他(抜粋)

・ 友人、身内、どこに相談すればいいのかわからない など

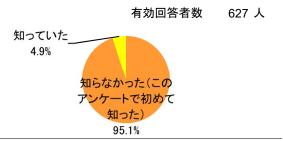


有効回答者数

627 人

4 ひきこもりについて専門的な相談ができる、「岡山県ひきこもり地域支援センター」を知っていますか

選択肢	回答者数
知らなかった(このアンケートで初めて知った)	596 人
知っていた	31 人



5 ひきこもり状態にある方やご家族を支援するために、市がどのような施策を行うことが必要だと思いますか

選択肢	回答者数		有効回答者数	627 人
当事者と家族への支援	355 人		56.6%	
相談窓口情報の発信	330 人		52.6%	
適切な支援機関の紹介	319 人		50.9%	
相談員・支援員の養成	200 人	31.9%		
多様な関係機関との連携	190 人	30.3%		
ひきこもりに関する周知・啓発	166 人	26.5%		
当事者の活動の場の充実(イベント活動、ボランティア活動等)	119 人	19.0%		
民間団体(家族会、当事者団体等)への支援	96 人	15.3%		
わからない	53 人	8.5%		
その他	28 人	4.5%		
		0% 20% 40%	60% 80%	6 100%

6 知人等から、ひきこもり状態の方がいるという話を聞いたことがありますか

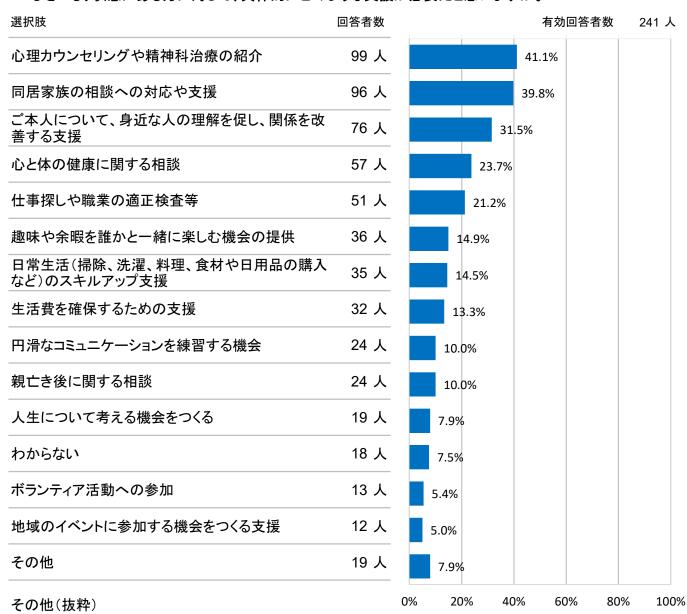
選択肢	回答者数
ある	241 人
ない	386 人



[・]行政が関わるべきではない、安心できる居場所づくり など

[※]複数回答のため、割合総計が100%を超えています。

7 ひきこもり状態にある方に対して、具体的にどのような支援が必要だと思いますか。



・個々の状況に合わせた支援、丁寧なヒアリングが必要、人と関わらないところから活動を始める など

(次ページにモニター属性の内訳あり)

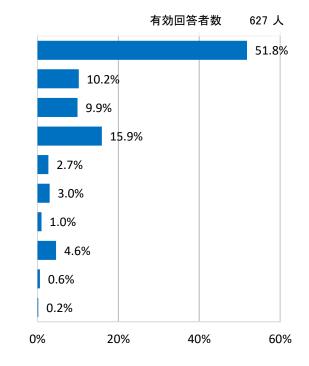
[※]複数回答のため、割合総計が100%を超えています。

モニターの属性(性別)	
選択肢	回答者数
男性	280 人
女性	346 人
不明	1 人



モニターの属性(地区)

選択肢	回答者数
倉敷	325 人
児島	64 人
玉島	62 人
水島	100 人
庄	17 人
茶屋町	19 人
船穂	6 人
真備	29 人
市外(在勤)	4 人
不明	1人



モニターの属性(年代)

選択肢	回答者数
90代	3 人
80代	37 人
70代	79 人
60代	135 人
50代	177 人
40代	131 人
30代	52 人
20代	12 人
不明	1人

